

事業名	青少年活動促進事業費			調書番号	98
細事業名	子どもクラブ活性化事業費	財務コード	159801		
担当部課室	教育委員会	社会教育課	課	青少年教育	担当 (内線) 8367

I 事業の概要

実施期間	始期 H16 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	補助(山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>子どもクラブに加入している小中学生</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>豊かな自然の中での様々な体験活動や親睦球技大会に参加することにより、相互交流を深め、子どもクラブ活動のすばらしさを実感している。</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> <td>子どもクラブ活動の充実と活性化の促進及び青少年の生きる力の育成や地域の連携</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	子どもクラブに加入している小中学生	その対象をどのような状態にして	豊かな自然の中での様々な体験活動や親睦球技大会に参加することにより、相互交流を深め、子どもクラブ活動のすばらしさを実感している。	結果、何に結びつけるのか	子どもクラブ活動の充実と活性化の促進及び青少年の生きる力の育成や地域の連携
だれ(何)を対象に	子どもクラブに加入している小中学生	その対象をどのような状態にして	豊かな自然の中での様々な体験活動や親睦球技大会に参加することにより、相互交流を深め、子どもクラブ活動のすばらしさを実感している。	結果、何に結びつけるのか	子どもクラブ活動の充実と活性化の促進及び青少年の生きる力の育成や地域の連携		
内容	<p>○山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会は、青少年の「生きる力」の育成及び地域の連携や教育力の向上のため、青少年育成を推進する団体である。</p> <p>○青少年育成を推進するためには、県下における子どもクラブ指導者組織(858団体※)の連絡協調及び指導者の資質向上を図り、子どもクラブの自主的な活動を促進することにより、児童の健全な育成と福祉の増進を図ることが必要なことから、子どもクラブ指導者連絡協議会事業の実施に必要な経費を補助する。 ※H31.3時点の数値</p>						
根拠法令等							

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	参加人数 (ふるさと子どもランドカーニバル及び子どもクラブ親睦球技大会)	目標	600	600.0	670.0	670.0	670.0	670.0
		実績(見込)	599	667.0	456.0	324.0	55.0	507.0
		達成率	99.8	111.2	68.1	48.4	8.2	75.7
		達成区分	b	b	c	c	d	c
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算)単位:千円			300	300	300	250	170	250

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	c	ランドカーニバルへの参加者や保護者は、異年齢による体験活動の充実感や満足感を感想文集に寄せている。県内リーダーや指導者、異年齢参加者による体験や交流をより充実させることで、青少年の「生きる力」を育む一助となる。また地域の指導者が関わり、地域の教育力向上にも繋がっている。親睦球技会は、猛暑により参加者の安全確保のため未実施とした。
成果指標	c	山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会は、各市町村子どもクラブ活動を活性化させるため、事業への参加者を中心に各市町村子どもクラブでリーダーとしての活躍を促進している。地域での継続的な活動により、その地域における年代を超えた地域づくりに貢献していると考えられる。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補正する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他
説明	子どもクラブ活動の充実・活性化において、県は県子どもクラブ指導者連絡協議会と県内子どもクラブ指導者組織の円滑な連携を図るため、指導・助言が必要である。少子化や多様な活動が進む中、県下子どもクラブの円滑な事業推進のため県の関与は必要である。
有効性(成果向上)	判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
説明	実施事業における経費の補助は、青少年の「生きる力」を育成するために有効であり、地域の連携や青少年教育の育成において成果をあげている。またリーダー育成という点で、ジュニアリーダー、シニアリーダーとしての育成の場としても期待できる。
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他(研修会の時間設定、時間配分を見直し、参加者の負担感を軽減する。)
その他	説明 県内子どもクラブ指導者組織からのニーズを把握し、事業内容の精査、改善を行うとともに、参加する子どもたちの健全育成の場として、さらに自主的な活動を再構築することを検討する。
見直しの必要性	有 県内子どもクラブ指導者組織と必要なニーズの認識に差があると感じるため、山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会主催の親睦球技大会において、これまで以上の参加者を確保できるよう種目変更及び各子どもクラブ指導者組織からのニーズに応じ、事業内容等の見直しを行う必要がある。

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明 山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会と県内子どもクラブ指導者組織において、様々な体験活動のニーズの共有を行うことができるよう改善策を講じる。県内子どもクラブ指導者組織からの要望を考慮し事業を企画することで、相互の事業実施における意義を再考できるよう検討する。
----------	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。